

令和4年度 旧安田楠雄邸庭園スタディーツアーを実施しました

1. 日 時: 令和4年11月27日(日) 13:00 ~ 16:45
2. 内 容: (1)公益財団法人日本ナショナルトラストによる文化財保存・活用について(説明)
(2)旧安田楠雄邸庭園の歴史と保存の取り組みについて(説明)
(3)ボランティア体験(雨戸明け、落ち葉掃き、畳乾拭き)
(4)折り紙体験(兜、箱)
(5)施設見学
3. 会 場: 旧安田楠雄邸庭園(文京区千駄木)
4. 参 加 者: 外国人留学生 21 名(中国 14、韓国 2、台湾 2、ベトナム 1、バングラデシュ 1、マレーシア 1 名)

5. 実施状況:

本事業は、日本の文化遺産や自然遺産について、その歴史や保存の取り組みについて知識を深める機会を外国人留学生に提供することを目的とし、令和4年度は、公益財団法人日本ナショナルトラストの協力を得て、同団体保有の旧安田楠雄邸庭園でのボランティア活動と見学を実施しました。旧安田楠雄邸庭園は大正時代に造営されたもので、近代和風住宅を含めた庭園が東京都指定名勝となっています。

当日は秋晴れ、木漏れ日の心地よい1日でした。当初、旧安田邸は雨戸が閉まっていたのですが、ボランティア体験で雨戸を開けると、庭のモミジの赤と常緑樹の緑が薄暗い館内とのコントラストで鮮やかに目に映り、参加者は庭園と紅葉の美しさを称賛していました。雨戸明けと並行して畳の乾拭きと庭の落ち葉掃きを行った後は、折り紙体験をしました。全員で兜を、余裕のある人はさらに箱を折りました。兜は被れるサイズのものを作ったので、参加者同士、兜を被って写真を撮りあう姿が見られました。

体験の後は休憩を挟んで館内見学をしました。施設ボランティアの方の説明に参加者は熱心に耳を傾けていました。また、予定になかった100年前の蓄音機で音楽を聞かせてもらえるというサプライズがありました。事後アンケートでも蓄音機での音楽鑑賞がとても好評で、参加者は100年前の音に感動しきりの様子でした。

6. 参加者の感想

- ・建物の歴史を教えてもらった。畳の拭き方も勉強になった。落ち葉掃きをして庭がきれいになったことにも達成感があった。そして、みんなと一緒に折紙したり、お茶を飲んだり、楽しい時間を過ごした。
- ・昔の趣を感じることができ、庭も広く、まるで自分が過去にいるような感覚を味わうことができた。また、中に入ると最初は雨戸が全部閉められていたため暗かったが、そのあと雨戸を全部開けると、光を纏った庭の風景が私の目に入って来た。それがすごく美しく、昔この家に住んでいた人たちを一瞬羨んでしまった。
- ・現在の日本と全然違う建物や考え方、昔の日本に興味を持てる体験だった。留学生にとって日本や日本文化を学べる大チャンスだと思うので、このイベントを今後も続けてほしい。
- ・また見学したくなるようなスタディーツアーだった。大学の他の留学生たちにも紹介したい。

